

目標達成計画

作成日: 平成 29年 9月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	①	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、入居者一人ひとりのペースを大切にしたい支援を行わなければならない。	野のはなの理念でもある『自分らしく生き生きと』を基本と考え、本人の意思決定を尊重し、家庭的な雰囲気の中で生活して頂けるよう支援していく。	・日常生活の中で、入居者のペースに合わせた個別支援を行う。地域交流も図り可能な限り外出の時間を取る。 ・笑いの多い環境作りを行う。 ・家族との関わりを深めて行く。	12ヶ月
2	⑬	認知症を正しく理解し、適切なケアを身につけるための学びが必要である。介護者一人ひとりが正しい知識をもち、チームの連携を図っていく必要がある。	法人で所内・所外研修を毎月実行し、職員の質の向上に繋げていく。認知症介護実践者研修にも前向きに参加する。	・認知症介護に対して職員自身が前向きに取り組む、笑顔で支援するための体制を作る。 ・職員の個性や学びを活かした支援提供を行っていく。	12ヶ月
3	⑳	入居者の健康管理と緊急時に的確な対応ができるよう整備が必要である。主治医と介護者の連携をより強化する必要がある。	主治医と介護者は入居者の安全と健康維持・増進のために日頃から心身の状況を把握し、共有していくため報告・連絡・相談を密に行っていく。	・入居者の健康状態(日中・夜間)を観察し、主治医の往診で報告する時には気付いたことや意見も十分に伝える。状態に応じ専門的な医療機関の受診も行って行く。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。